



5分で学べる！いつでも、どこでも、スマホでも！

「主体的・対話的で深い学び」実現のためのマイクロコンテンツ集 -動画で学ぶ授業づくり-

これまでの研究成果を生かし、先生方個人の研修、および校内研修で活用できる動画コンテンツを作成しました。総合教育センターWebサイトからアクセスして、YouTubeで視聴できます。ここでは、令和3年3月公開分を紹介しします。ぜひご覧ください！

「主体的・対話的で深い学び」実現に向けた授業づくりをしよう



Let's try 授業づくり～「何ができるようになるか」を意識して～

これからの時代に求められる資質・能力を育成するために、子供が「何ができるようになるか」を明確にした授業づくりを進めましょう。



Let's try 授業づくり②～子供の視点に立ったPDCAサイクル～

授業で見取った子供の表れを分析し、次からの授業に生かすことを校内で共有しながら、授業改善のPDCAサイクルを生み出しましょう。

授業を設計しよう

解決したい 課題や問い 考えるための 材料 対話と思考 学習の成果



4項目って何だろう？

総合教育センターが提案している「主体的・対話的で深い学び」実現のための授業づくりの要！授業をデザインする上で、なぜ4つの項目が重要なのでしょうか？



「解決したい課題や問い」を考えるヒント

「解決したい課題や問いって何？」「設定する時のポイントは？」。先生方の疑問に、具体を示しながらお答えします。



「考えるための材料」を考えるヒント

「考えるための材料」を工夫することで「深い学び」が実現します。より良い材料とは何か、知識構成型ジグソー法を例に紹介します。



「対話と思考」を考えるヒント

「対話的な学び」の肝である「建設的なやりとり」とは？「対話」を通して「思考」を深めるとは？を具体的にイメージします。



「学習の成果」を考えるヒント

「学習の成果」として、授業の終末にどのような子供の姿をイメージして授業づくりを行っていけばよいのか、考えてみましょう。



子供が深く学ぶ姿とは？

「深い学び」とは、具体的にどのような学びの姿を指すのでしょうか。例を挙げながら、「学習の成果」の発展編として、理論的に解説します。

子供の学びを評価しよう



「子供の学び」を評価する～指導と評価の一体化に向けて～

「指導と評価の一体化」に向けて、子供が「どのように学んでいるか」という学びの過程の捉え方について確認しましょう。



効果的な授業検討会を行うために～どのように学んだかを見取る～

授業中の「子供が学んでいる姿」から授業改善を行うための授業分析の方法（学習過程可視化法）について、紹介します。



効果的な授業検討会を行うために～どのように学んだかを見取る（実践例）～

授業中の「子供が学んでいる姿」から授業改善を行うための授業分析の方法（学習過程可視化法）の実践について、小学校の例を紹介します。

01-1 レッツトライ授業づくり①

(何ができるようになるかを意識して)

<https://youtu.be/GRensJmSOZ4>



01-2 レッツトライ授業づくり②

(子どもの視点に立ったP D C Aサイクル)

<https://youtu.be/XK1DkT36vao>



02-1 4項目って何だろう？

<https://youtu.be/vXTLcfQMnyg>



02-2 「解決したい課題や問い」を考えるヒント

https://youtu.be/-tS_io_Gh0g



02-3 「考えるための材料」を考えるヒント

<https://youtu.be/t-6ZChlKkXo>



02-4 「対話と思考」を考えるヒント

<https://youtu.be/Z0jqM7Uwa9Y>



02-5 「学習の成果」を考えるヒント

https://youtu.be/mA0A_c288zg



02-6 子供が深く学ぶ姿とは？

<https://youtu.be/JKCNV9pGHTA>



03-1 子供の学びを評価する

(指導と評価の一体化に向けて)

<https://youtu.be/kUPcIGs0MFE>



03-2 効果的な授業検討会を行うために

(どのように学んだかを見取る)

<https://youtu.be/0ahf8xgI2J4>



03-3 効果的な授業検討会を行うために (実践例)

<https://youtu.be/nTWG7IyG9L0>



紹介 PDF へのリンク

